



警戒レベルに応じたとるべき行動

警戒レベル	住民の皆さんのとるべき行動
警戒レベル5 が発令されたら…	<p>命を守る最善の行動を</p> <p>すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。</p> <p>最終的な危険回避行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●未避難者の緊急避難 ●屋内安全確保（垂直避難） <p>避難完了</p>
警戒レベル4 が発令されたら…	<p>「災害発生情報」</p> <p>安全な場所へ避難</p> <p>速やかに避難し、身の安全を確保しましょう。避難場所までの移動がかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。</p> <p>「避難勧告」「避難指示（緊急）」</p> <p>避難に時間を要する人は避難</p> <p>避難に時間を要する人（高齢者、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は、避難を開始しましょう。その他の人は、避難情報を確認し、避難の準備を整えましょう。早めの避難を心がけてください。</p> <p>「避難準備・高齢者等避難開始」</p> <p>避難行動の確認</p> <p>最新情報に注意し、警戒してください。避難準備を始め、いつでも避難できるようにしてください。避難に備え、ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難場所等を確認しましょう。</p> <p>要配慮者避難開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外出の中止 ●家族の動向確認 ●避難の準備（要配慮者） ●氾濫に関する情報に注意 ●「避難準備・高齢者等避難開始」情報の覚知
警戒レベル3 が発令されたら…	<p>高齢者等は避難</p>
警戒レベル2 が発表されたら…	<p>心構えを高める</p> <p>テレビ、ラジオ、インターネット、携帯メール等で大雨や河川の状況を確認し、災害への心構えを高めてください。</p>
普段から…	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練への参加 ・防災グッズの準備 ・災害・避難カードの確認 ・ハザードマップ等による避難場所や避難ルートの確認 ・テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認 ・隣近所との相互協力関係の醸成 ・家族との連絡方法確認 ・自宅保全

【警戒レベル5】ではすでに災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。
【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。



避難の判断について知っておきたいこと

適切な避難行動を確認しよう

洪水（河川の氾濫）によって市街地や建物、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。一般の建物では、浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水する恐れがあり、3m以上では2階も浸水する恐れがあるため、2階への避難ができません。洪水の正しい避難行動は、「**浸水が始まる前に避難する**」ことです。浸水の中の避難は大変危険です。14 ページからの洪水ハザードマップで、自宅や職場などの浸水等の状況を確認し、下の図からいざというときの避難行動を確認しておきましょう。

